## ■仕様・外観

### オフィスモデル　［国内・海外向け］

企業の支社／支店、開発拠点といった比較的小規模なオフィスや拠点などへの適用が可能。
オプションライセンスの追加により段階的なアップグレードも可能で、
導入後のネットワーク環境の変化にも柔軟に対応します。

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| WAN アクセラレート機能 | 最大TCPセッション数 | 2,000 |
| | 最大TCPセッション性能 | 30Mbsp(50Mbps/100Mbps)*1 |
| | 最大転送容量 | 30Mbsp(50Mbps/100Mbps)*1 |
| 最大ポート数 | 10/100/1000BASE-T | 2 |
| バイパス機能*2 | | 有 |
| 筐体サイズ*3 | | 1U |
| 冗長化 | | 電源 |

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 設備条件 | 入力電圧(V) | AC100～120±10% / AC200～240±10% |
| | 最大入力電流(A) | 100VAC:1.0　200VAC:0.5 |
| | 最大消費電力(W) | 90 |
| | 最大発熱量(kJ/h) | 324 |
| | 温度条件(℃) | 0～50(非動作時：-10～60) |
| | 外形寸法 W×D×H(mm) | 445×440×43 |
| | 質量(kg)(最大搭載時) | 8 |

*1 オプションライセンスの追加により50Mbps/100Mbpsにアップグレード可能です。　*2 障害発生時に該当セッションをバイパスします（WANアクセラレート機能なし）。　*3 1U:44.45mm

### ハイエンドモデル　［国内・海外向け］

データセンターや研究・開発拠点、
設計・製造拠点などの
比較的大規模な拠点への適用が可能。
拠点の規模に応じて
3種類のタイプから選択できます。

| 項目 | | | 2スロット | 4スロット(国内向け) | 8スロット(国内向け) |
|---|---|---|---|---|---|
| WAN アクセラレート機能 | 最大TCPセッション数(SMC最大搭載時)*1 | | 6,000 | 18,000 | 42,000 |
| | 最大TCPセッション性能 | | 300Mbps | | |
| | 最大転送容量(SMC最大搭載時)*2 | | 1Gbps | 3Gbps | 7Gbps |
| 最大ポート数*3 | 10GBASE-R | XFP(SR/LR/ER/ZR) | — | 24 | 56 |
| | 1000BASE-X | SFP(SX/SX2/LX/BX/LH/LHB)*4 | 8*5 | 72 | 168 |
| | 10/100/1000BASE-T | | 4*5 | 72 | 168 |
| バイパス機能*6 | | | 有 | | |
| 筐体サイズ*7 | | | 2.5U | 5U | 7U |
| 冗長化 | | | 電源 | 電源、共通部 | |
| 設備条件 | 入力電圧(V) | | AC100～120/AC200～240 | AC100～120/AC200～240,DC-48 | |
| | 最大入力電流(A) | | 100VAC:10<br>200VAC:5 | 100VAC:16　-48VDC:32<br>200VAC:8 | 100VAC:25　-48VDC:50<br>200VAC:12.5 |
| | 最大消費電力(W) | | 900 | 1,500 | 2,400 |
| | 最大発熱量(kJ/h) | | 3,240 | 5,400 | 8,640 |
| | 温度条件(℃) | | 0～40 | | |
| | 外形寸法 W×D×H(mm) | | 443×544×110 | 443×544×211 | 443×544×303 |
| | 質量(kg)(最大搭載時) | | 25 | 45 | 64 |

*1 SMC：Service Module Card 、WANアクセラレート機能を提供。　*2 SMC1枚あたりで最大1Gbps（複数セッション）の高速処理が可能。　*3 SMCを1枚搭載し、その他空きスロットにインタフェースカードを最大搭載した際の最大ポート数を示します。　*4 2スロットモデルはSFP（SX/LX）のみサポートします。　*5 2スロットモデルは1000BASE-Xおよび10/100/1000BASE-Tを収容できる専用インタフェースカードを搭載した際の最大ポート数を示します。なお、1000BASE-Xの4ポートと10/100/1000BASE-Tの4ポートは排他使用となるため、専用インタフェースカードあたり最大8ポート収容可能です。　*6 障害発生時に該当セッションをバイパスします（WANアクセラレート機能なし）。　*7 1U：44.45mm

**⚠ 安全に関するご注意**　正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

●カタログに記載の内容・仕様・外観は、2014年7月時点のものです。製品の改良などのため予告なく変更することがあります。　●製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。●日立は、WANアクセラレータ関連の特許を、高速化通信技術を中心に、多数の国に出願しています。　●本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

**製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ**

■ 製品情報サイト
**http://www.hitachi.co.jp/wan-accelerator/**

■ インターネットでのお問い合わせ
**http://www.hitachi.co.jp/network/contact/**

株式会社 日立製作所　情報・通信システム社　通信ネットワーク事業部

CA-899T　2014.7
Printed in Japan(H)

# 日立WANアクセラレータ GX1000シリーズ

HITACHI
Inspire the Next

ビッグデータを、より遠くへ より速く。

www.hitachi.co.jp/wan-accelerator/

# 国内外拠点間の
# 大容量データ通信時間を大幅に短縮

3D-CADデータや金融取引データ、映像データ、バックアップデータといった
更新頻度の高いビッグデータが日々のビジネスの現場で活用されるようになった現在、
その転送や共有に要する時間やコストは、
企業の競争力を左右するきわめて重要なファクターとなりつつあります。
日立WANアクセラレータは、WAN回線で接続された国内外の各拠点に設置することで、
TCP通信そのものを高速化。
日立独自のアルゴリズムによってWAN回線の契約帯域を最大限に活用し、
大容量データやバックアップデータの転送時間を大幅に短縮します。

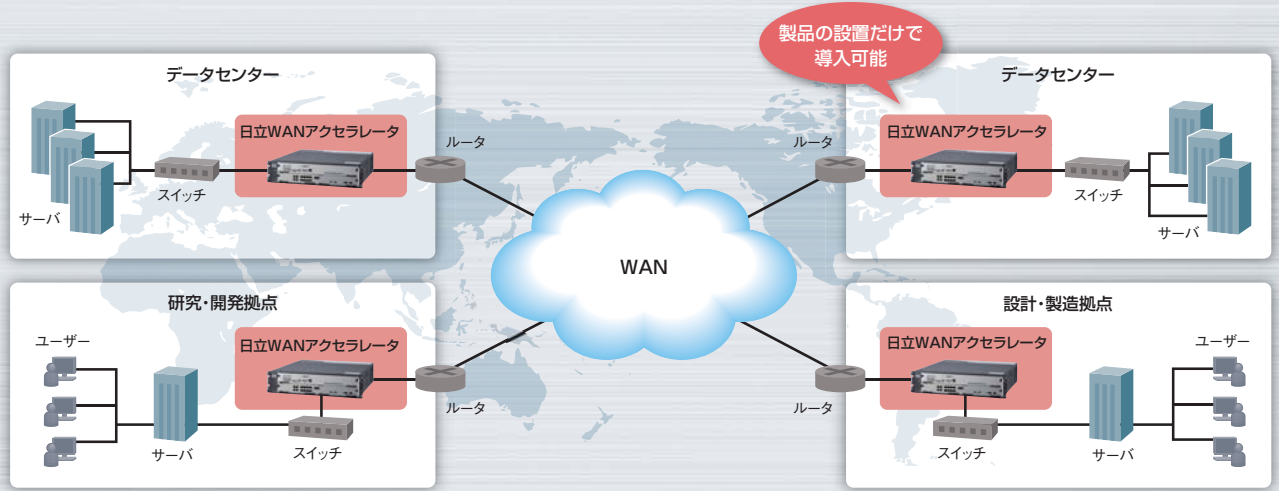
CAD:Computer Aided Design　WAN:Wide Area Network　TCP:Transmission Control Protocol

## 日立WANアクセラレータの特長

### 長距離伝送で効率的なデータ通信を実現 詳しくは→P3

### きめ細かなデータ転送量制御で空き帯域を有効利用 詳しくは→P3

### 既存システムへの導入が容易

既存のシステム環境に変更を加えることなく導入可能。
サーバやクライアント端末をそのまま継続して使用できます。

## ニーズに応じて選べるラインアップ

**オフィスモデル**

世界中に展開するオフィスや小規模拠点から
大容量データに高速アクセス!

**ハイエンドモデル**

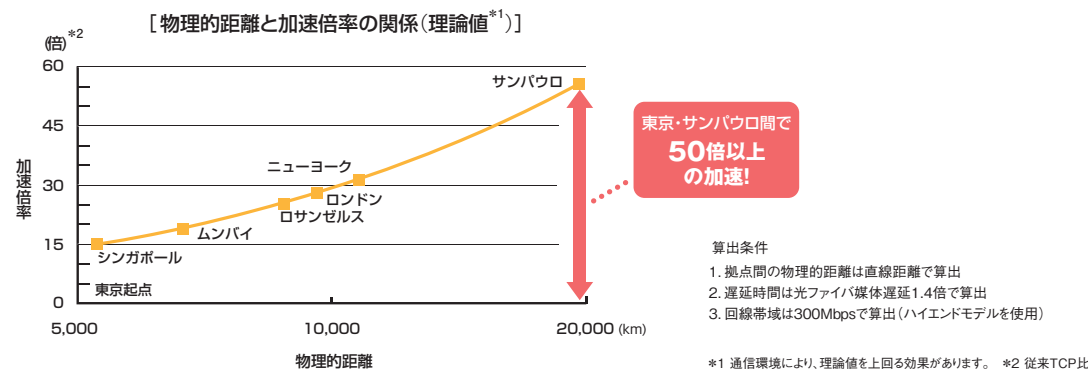
世界各地のデータセンター・大規模拠点間で
大容量データを高速転送!

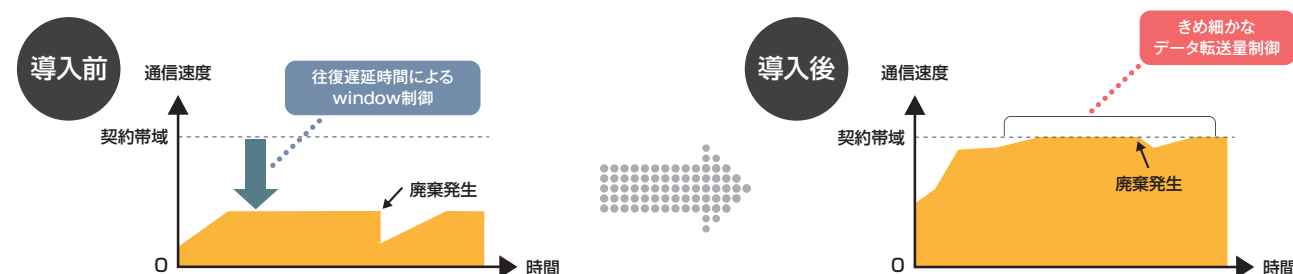
# WAN 高速化技術　独自アルゴリズムで WAN回線帯域を最大限に活用

## 長距離伝送で効率的なデータ通信を実現

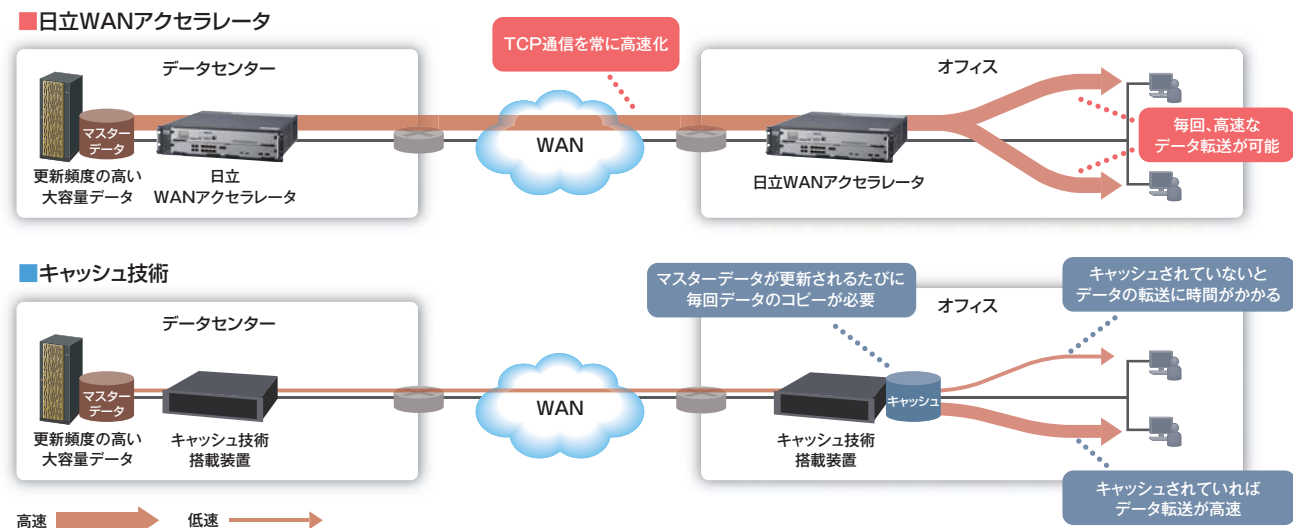
日立独自のアルゴリズムによりTCP通信そのものを高速化。往復遅延時間が長いグローバル回線などにおける長距離伝送での性能低下を抑え、効率的なデータ通信を実現します。

算出条件
1. 拠点間の物理的距離は直線距離で算出
2. 遅延時間は光ファイバ媒体遅延1.4倍で算出
3. 回線帯域は300Mbpsで算出(ハイエンドモデルを使用)

*1 通信環境により、理論値を上回る効果があります。 *2 従来TCP比

## きめ細かなデータ転送量制御で空き帯域を有効利用

WAN回線の空き帯域をリアルタイムに測定し、回線の混雑状況に応じて、きめ細やかにデータ転送量を制御。パケットの廃棄が発生しても、速度を極端に低下させることなく、高速な通信を行います。

## 更新頻度の高い大容量データも高速転送

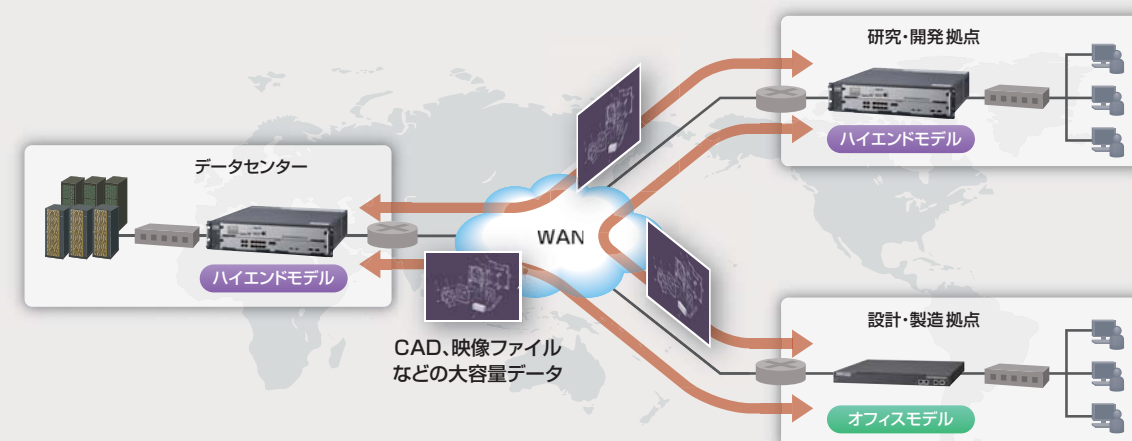
WAN回線の帯域を最大限に活用し、常に高速なTCP通信を行うことにより、キャッシュ技術では困難な、更新頻度の高い大容量データの高速転送を実現します。

# ユースケース　さまざまなビジネスシーンで 業務を効率化・円滑化

## 国内外拠点における長距離間での大容量データの通信を高速化

CAD、映像ファイルなどの大容量データ、eコマースや金融取引データなどの大容量で、更新頻度の高いデータを国内外の複数の拠点間でLANと同等の速度で転送。効率的なデータ更新・共有を実現するとともに、情報の一元管理で、IT投資コストの削減に貢献します。

オフィスモデル
ハイエンドモデル

こんな課題に
海外拠点とのデータ転送に時間がかかりすぎ、情報共有が進まない。

これで解決
各拠点にハイエンドモデルまたはオフィスモデルを設置しWANを高速化。データセンターに情報を集約し、プライベートクラウドで運用。

## ディザスタリカバリなど、データセンター間のバックアップ時間の短縮

ストレージデータのリモートバックアップの時間を短縮することで、遠隔地のデータセンターへの効率的なバックアップが可能となり、災害による障害発生時にも迅速なリカバリを実現します。

ハイエンドモデル

こんな課題に
大容量データのリモートバックアップができないため、災害などの対策が不十分。

これで解決
各データセンターにハイエンドモデルを設置し、WANを高速化することでディザスタリカバリを強化。